

# CLASSIC PRO UHF ワイヤレスシステム

# CWM-PLUS, CWT-PLUS シリーズ

取扱説明書





株式会社 サウンドハウス 〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3 TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222 http://www.soundhouse.co.jp

# はじめに

この度は CLASSIC PRO UHF ワイヤレスシステム CWM-PLUS、CWT-PLUS シリーズをお買い上 げいただき、誠にありがとうございます。製品の性能をフルに活用し、末永くお使いいただくため、 この取扱説明書を必ずお読みください。

## 使用上のご注意

- この取扱説明書にしたがって操作してください。
- 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動および輸送時には大きな衝撃が加 わらないようにしてください。
- 直射日光下やアンプ、ファンヒーターやストーブの側など高温になりやすい場所、塵、埃の多い場所、過度に湿度の高い場所、振動の多い場所での保管、使用は避けてください。
- 異常な音、又はにおいが発生した際には電源を切り、販売店または正規代理店までお問い 合わせください。
- 液漏れによる故障を避けるため、長期間使用されない場合は電池を抜いて保管してください。
- 使用後の電池や本体、部品を破棄する際は地域の環境規則に従ってください。
- 修理が必要なときには、販売店、もしくは正規代理店まで問い合わせください。

電波法について

- CWM-PLUS、CWT-PLUS ワイヤレスシステムは電波法に基づく技術基準適合を取得して工 場出荷しています。トランスミッターやアンテナの改造、及び法律に基づく表示を改変、削除 することはお止めください。
- 国内で販売されているトランスミッターは国内専用の為、電波法の異なる海外では使用できません。

# 特徴

- UHF 周波数帯対応 PLL シンセイサイザー方式によるチューニングコントロールです。フェイズ ロックドループ(PLL)回路により、16の周波数から障害のないチャンネルを容易に選択でき ます。
- 超高感度かつ低ノイズな送受信を実現。

# ワイヤレスシステムについて

- セッティング前にトランスミッターとレシーバーが同じ周波数に設定されている事を確認してく ださい。
- 2 台以上のトランスミッターを同じ周波数で使用しないでください。
- 液漏れによるダメージを防ぐ為、古い電池のご使用は避けてください。
- レシーバーの Volume Control ノブで、ご使用になるミキサー、アンプの入力レベルとレシーバーの出力レベルを合わせてください。
- トランスミッターのゲインコントロールで、ラベリアマイクもしくは楽器の入力レベルとトランスミッターの感度を調整してください。
- サウンドチェック時、使用になる場所の周辺でトランスミッターを移動し、デッドスポットを探してください。デッドポイントがあった場合、レシーバーの位置を変えてください。
- 混信を防止する為、レシーバーを TV、ラジオ、その他ワイヤレス製品や金属品のすぐ近くに 置かないでください。またトランスミッターとレシーバーの間に障害物を置かないようにしてく ださい。

# 各部の名称と機能

レシーバー

CWM-PLUS、CWT-PLUS ワイヤレスマイクシステムは PLL シンセサイザー方式を用い、UHF 帯域の周波数で動作します。レシーバーは付属のトランスミッターと合わせてご使用ください。





#### 1. 電源スイッチ

長押し(約4秒)で電源の ON/OFF を行います。

## 2. ムボタン

モード、チャンネル選択に使用します。

### 3. セットボタン

「MUTE」が表示されるまで長押し(約2秒)し、表示されたらボタンを離します。LCD ディスプレ イが点滅するので、△ボタンでチャンネルを変更します。 ボタンを離し、LCD が5回点滅する と、セッティングがロックされます。

#### 4. ディスプレイ

チャンネル番号、周波数レベル、RF&AFシグナル強度、セットアップモードを表示します。

#### 5. GP

プリセットグループ番号を表示します(例:P1、P2 など)

6. CH

プリセットチャンネル番号を表示します(例:C1、C2 など)

#### 7. CH

チャンネル番号を表示します(例:001、016 など)

#### 8. FREQ

周波数を表示します。

9. RF レベルインジケーター

5 つの LED が RF アンテナで受信した信号の強さを表示します。LED が多く点灯する程、信号 が強い事を表します。LED が点灯していない場合は信号が届いていない事を表しています。

10. AF レベルインジケーター

5 つの LED で音声信号のレベルを表示します。

11. MANUAL

マニュアル操作で障害のないチャンネルを選択する際に使用します。

#### 12. SCAN

オートスキャン機能で、障害のないチャンネルを自動で選択する際に使用します。

#### 13. PRESET

プリセットグループから信号の障害のないチャンネルを選択する際に使用します。4 つのグル ープには、トランスミッターの同時使用に適した 8 つのプリセットチャンネルがあります。

#### 14. ボリューム調整つまみ

レシーバーの出力レベルを調整します。ミキサーやアンプの入力感度に合わせてください。

#### 15. アンテナ入力コネクター

BNC 型のコネクターで付属のアンテナやアンテナディバイダー、ブースター、リモートアンテナ に接続するコアキシャルケーブルを接続してください。

16. バランス出力(XLR3ピン)

バランス仕様のマイクレベル、又はラインレベルの出力端子です。

17. アンバランス出力(フォーン):

マイクレベル、又はラインレベル出力端子で、ギターアンプの接続に適しています。

18. マイク/ラインスイッチ:

XLR バランスとアンバランスフォンの出力レベルが選択できます。マイク(-22dB)、又はラインレベル(0dB)に設定できます。

19. スケルチ:

ノイズを抑える為、スケルチを調整してください。スケルチが高く設定されると、レシーバーの 感度が低くなり、システムの有効範囲が狭まります。スケルチを最小限に設定してからレシー バーの電源を入れてください。

20. DC 入力:

付属の AC アダプターを接続してください。

21. SYNC

SYNC 機能を選択する際に使用します。ハンドマイク/ボディパックの SYNC ボタンを押すと LCD ディスプレイの SYNC 表示が点滅するので、LCD ディスプレイの「SYNC」の表示が消える まで、レシーバーの SYNC ボタンを押してください。セッティングがロックされ、記憶されます。

### ハンドヘルドマイク(CWM-PLUS シリーズ)

ハンドヘルドのマイクは UHF 周波数帯で PLL シンセサイザー方式で動作します。フェーズロックル ープ(PLL)回路により 16ch の周波数の内から障害のないチャンネルを簡単に選択可能です。(チ ャンネル数は地域によって異なります)電源は単3 乾電池2本、又は充電式乾電池2本をご使用 ください。



1. グリル

マイクカプセルを外部の衝撃から守り、ウィンドノイズを軽減します。

2. ディスプレイ

チャンネル数とバッテリーの残量を表示します。

3. 電源スイッチ

長押し(4秒)でトランスミッターの電源を ON/OFF します。

4. 電池ボックス

2 本の単 3 乾電池、又は充電式電池を入れてください。必ず+/-が正しい事を確かめてください。

5. SYNC ボタン

レシーバーと共に使用し、使用チャンネルを設定します。

6. 電池ボックスカバー

電池ボックスやチャンネルボタンの操作をする際に外してください。

7. アンテナ 固定式のアンテナが本体に内蔵されています。 トランスミッター(CWT-PLUS シリーズ)

UHF 周波数帯で PLL シンセサイザー方式により動作します。700 の周波数から障害のないチャン ネルを簡単に選択可能です。2本の単3乾電池、又は充電式乾電池をご使用ください。



1. 電源スイッチ

長押し(約4秒)でトランスミッターの電源を ON/OFF します。

2. ミニ XLR コネクター

付属のマイクもしくは楽器用ケーブルを、トランスミッターのコネクターに接続してください。

- アンテナ
   固定式アンテナです。
- 4. ディスプレイ

チャンネル数とバッテリーの残量を表示します。

5. SYNC ボタン

レシーバーと共に使用し、使用チャンネルを設定します。

6. マイク/ラインセレクター

音声入力をマイクレベル、又はラインレベルに設定します。

7. ゲイン

トランスミッターの入力感度を調節し、接続されているラベリアマイク、又は楽器等の信号レベルに合わせます。ゲイン調節範囲は 10dB です。

8. マイクユニット

単一指向性のエレクトレットコンデンサーユニットで広い周波数帯をカバーします。

9. タイクリップ

マイクをネクタイ、又は襟等に取り付けることができます。

10. ケーブル

ミニ XLR コネクターでトランスミッターを接続してください。

11. 電池ボックス

単3乾電池、又は充電式電池2本を、必ず+/ーが正しい事を確かめて入れてください。

# 使用方法

## レシーバーの接続

設定を始める前にトランスミッターとレシーバーが同じ周波数であることを確認してください。同じ 周波数に設定された複数のトランスミッターを、同じ場所で同時に使用することは出来ません。複 数のトランスミッターを使用する場合、ご使用の地域で使用可能な異なる周波数を選択してください。

<ul> <li>アンテナをレシーバーの BNC ソケットに差し込み、上に向けてください。</li> </ul>
● DC 12V 500mA の AC アダプターをレシー バー後部の DC 入力に差し込みます。
<ul> <li>3 ピン XLR、又はフォンプラグの標準オー ディオケーブルでオーディオミキサー、又 はアンプ機器に接続してください。音声信 号が出力されなかったり、ノイズが増加す る恐れがありますので、バランスとアンバ ランス仕様の出力を同時に使わないでくだ さい。</li> </ul>
<ul> <li>ミキサーに接続する前に、Mic/Line セレク ターのポジションをオーディオミキサー側と 合わせてください。(マイク/-22dBm、ライ ン/0dBm)</li> </ul>



3 ピン XLR、又はフォンプラグの標準オーディオケーブルでオーディオミキ サー、又はアンプ機器の MIC 入力に接続する場合は、レシーバーのボリ ュームノブで音量レベルを1時程度の位置に調節してください。バランス、 アンバランスの出力レベルは約 77mV です。

 3ピンXLR、又はフォンプラグ付きの標準オーディオケーブルでオーディオ ミキサー、又はアンプ機器の LINE 入力に接続する場合はレシーバーの ボリュームノブで音量レベルを最大にしてください。バランス、アンバラン スの出力レベルは約 770mV です。音声信号が出力されなかったり、ノイ ズが増加する恐れがありますので、バランスとアンバランス仕様の出力を 同時に使わないでください。

## レシーバーのチャンネル設定

周波数チャンネルのセットアップをする際、複数のトランスミッターを近づけて操作しないでください。 トランスミッターは、レシーバーから最低でも1m以上離してください。

# マニュアルでの選択方法

マニュアル操作で障害のないチャンネルを選択します。

	● 電源スイッチを 4 秒長押しし、電源を入れま す。
-MANUAL- I I IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	● △ボタンを押し MANUAL モードを選択しま す。
MANUAL CH B 19,950 FREQ MNHz RF AF B STNC	<ul> <li>SET ボタンを 2 秒押し、MUTE と表示されディスプレイが点滅したら、ボタンを離します。</li> </ul>
MANUAL SCO B 10.975 FREQ MILE CH MUTE RF AF	● △ボタンを押し、チャンネルを選択します。
MANUAL CH B 10,975 REG MALE RF AF	<ul> <li>● △ボタンを離し、ディスプレイが 5 回点滅すれば、セッティングのロックは完了です。</li> </ul>

# オートスキャンモード

障害のないチャンネルを自動で探します。

	● 電源スイッチを 4 秒長押しし、電源を入れます。
CH B 19.950 MHE RF AF	● △ボタンを押し SCAN モードを選択します。
SCAN TIDO B 19.950 FRE0 Mite CH MUTE RF AF	● SET ボタンを 2 秒押し、MUTE と表示されディスプレイが点滅したら、ボタンを離します。
SCAN SCON B 10,975 CH MUTE RF AF	<ul> <li>● △ボタンを押すとスキャンが開始され、自動 で障害の少ないチャンネルに止まります。</li> </ul>
SCAN 500 8 10.975 FREQ MHE CH RF AF	<ul> <li>ボタンを離しディスプレイが 5 回点滅すれば、セッティングのロックは完了です。</li> </ul>

注意:複数のレシーバーシステムをセットアップする場合は、セットし終わったレシーバーやマイクの電源を切らずに次のスキャンを開始してください。

プリセットモード

デフォルト設定のチャンネルを使用し、チャンネルを設定します。本製品には4つのプリセットグル ープがあり、各グループにはプログラム済みの4つのチャンネルがあります。プリセットグループで デフォルト設定されているチャンネルを使用することにより、簡単に4つのマイク - レシーバー間 の設定をすることができます。外部からの障害がある場合を除き、デフォルトのチャンネルはお 互いに障害にならないようにセットされています。プリセットを使用することで、4チャンネル分の スキャンの手間を省き、少ない手順で設定を完了することができます。

	● 電源スイッチを 4 秒長押しし、電源を入れま す。
- PRESET - TOO B 19.950 - CH RF AF	● △ボタンを押し PRESET モードを選択しま す。
GP P1 CH 8 PRESET 5 30 B 15.4755 FREQ MUTE RF AF	<ul> <li>SET ボタンを 2 秒押し、MUTE と表示されディスプレイが点滅したら、ボタンを離します。</li> </ul>
GP P1 CH 8 PRESET 6 30 B 15.475 FRE0 Mite RF AF	● △ボタンを押し、グループを選択します。
GP P1 CH 8 PRESET G B 15,475 FREQ Mile CH 8 AF	<ul> <li>ボタンを離しディスプレイが 5 回点滅すれ ば、セッティングのロックは完了です。</li> </ul>

注意:使用しているグループに外部の障害が干渉する場合、違うプリセットグループを使用してく ださい。4 つのプリセット全てに障害が発生している場合、オートスキャンモードかマニュアルモー ドで設定してください。

## SYNC モード

SYNC モードを選択することで、ハンドマイク/ボディパックーレシーバー間で障害のないチャンネル を素早く探すことができます。

	● 電源スイッチを 4 秒長押しし、電源を入れます。
GP P2 CH 4 B 19.950 PREQ MITE RF AF SYNC CH INTE RF AF	<ul> <li>オートスキャンモードまたはマニュアルモー ドで障害のないチャンネルを選択します。</li> <li>ハンドマイク/ボディパックの SYNC ボタンを 押すと、レシーバーの「SYNC」の表示が点 滅します。</li> </ul>
GP P2 CH 4 B 19950 CH MUTE RF AF	<ul> <li>ハンドマイク/ボディパックの SYNC ボタンを 押し続け、レシーバーの SYNC ボタンも同時 に押してください。</li> <li>SYNC の表示が消えディスプレイに RF シグ ナルが表示されれば、セッティングはロック され、チャンネルが記憶されます。</li> </ul>
□ FREEZERS CO 1 M □ T T T T T T T T T T T T T T	<ul> <li>SYNC 設定をする時には、レシーバーとトランスミッターとの距離は 1m 以内で行ってください。</li> </ul>

ハンドマイク/ボディパックトランスミッターのセットアップ

<ul> <li>電池カバーを開け、電池ボックスに乾電池 を入れてください。この際、+/ーを正しく入 れてください。</li> </ul>
● ボディパックのオーディオインプットに、ミニ XLRを接続します。
<ul> <li>ハンドマイクの電池カバーを外し、電池ボックスに乾電池を入れてください。この際、+/ ーを正しく入れてください。</li> </ul>
<ul> <li>電源ボタンを4秒長押しし、ハンドマイク/ボ ディパックトランスミッターの電源を入れてく ださい。</li> </ul>

保証書

# 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

# お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致 します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、 商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の 修理と致します。

- 1. お取扱い方法が不適当(例:ボイスコイル焼けなどの故障等)なために生じた故障の場合
- 2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
- 3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
- 4. 天災 (火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等) による故障及び損傷の場合
- 5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
- 6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
- 7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合(例:発電機などの使用による異常電圧変動等)
- 8. 消耗部品(電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等)の交換が必要な場合
- 9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合(例:スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等)
- 10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証 範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄な どの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので 発送願います。

#### ●RA番号(返品承認番号)

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に 明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください(お客様のご負担の場合 はどの便でも結構です)。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機 器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切 の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

